

# PAVEシステム Ver6.2

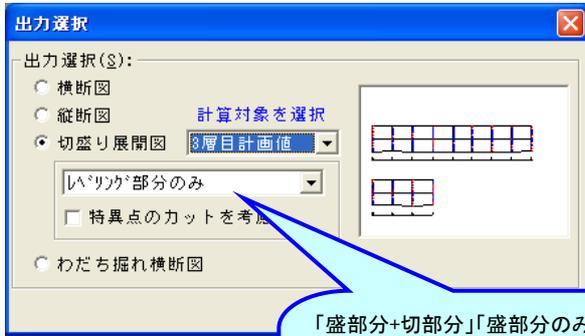
## PAVEシステム Ver6.2の主な仕様内容

- 切削オーバーレイの切盛展開図を複数層に対応するよう強化しました。
- 切削オーバーレイの横断面図において、施工箇所のみ計画線を出力機能を追加しました。
- 横断面図データ編集の値算出機能において、任意の横断ポイントを計画線で結ぶ機能を追加しました。

### 切盛展開図の複数層対応

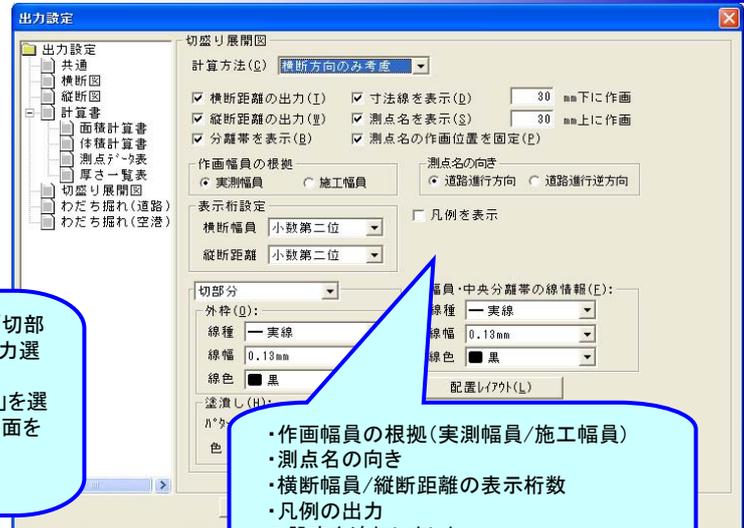
- ・現行の「盛部分+切部分」の切盛展開図に加え、「切部分のみ」・「盛部分のみ」・「レベリング部分のみ」の切替が行えます。
- ・「盛部分のみ」・「レベリング部分のみ」を選択した場合、各層での「盛部分のみ」・「レベリング部分のみ」展開図を作成します。
- ・展開図の作成にあたっては、実測幅員または施工幅員の切替が行えます

#### ▼出力選択画面

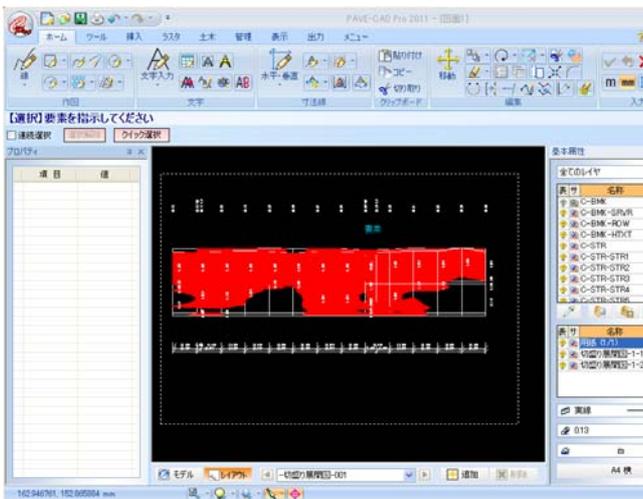


「盛部分+切部分」「盛部分のみ」「切部分のみ」「レベリング部分のみ」の出力選択が可能です。  
 「盛部分のみ」「レベリング部分のみ」を選択した場合は、各層に対応した図面を出力できます。

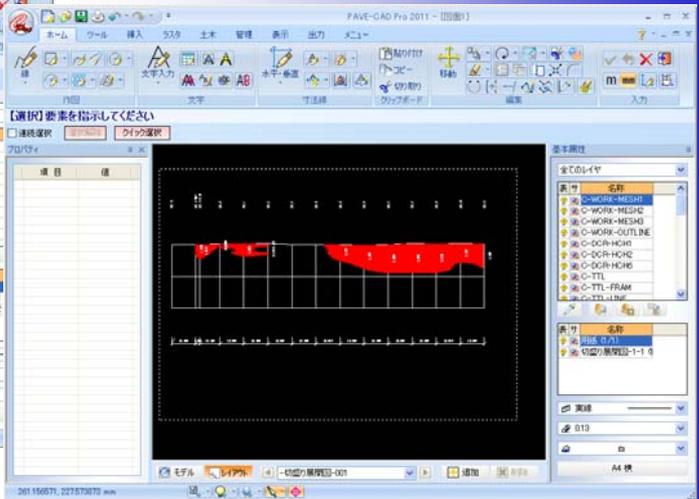
#### ▼出力設定画面



・作画面員の根拠 (実測幅員/施工幅員)  
 ・測点名の向き  
 ・横断幅員/縦断距離の表示桁数  
 ・凡例の出力の設定を追加しました。



▲PAVE-CAD Proの出力例(1層目)



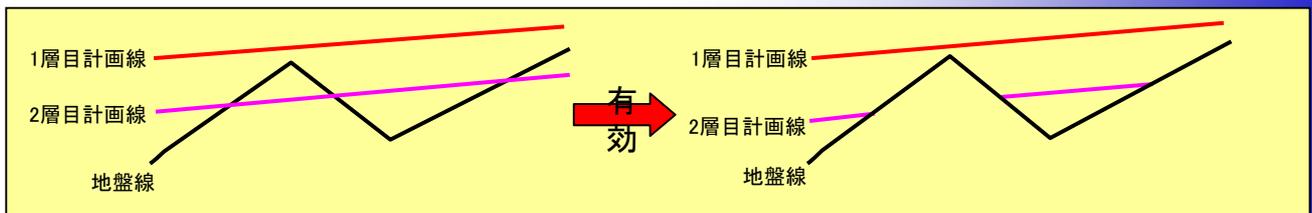
▲PAVE-CAD Proでの出力例(2層目)

## 施工箇所のみ計画線を出力

・切削オーバーレイの横断面図において、地盤線より下位に存在する計画線は表示しない設定を追加しました。

### ▼出力設定画面

出力設定画面の「横断面」項目内「設定3」タブに「施工範囲のみ計画線を表示」のチェックボックスにチェックマークを付けます。

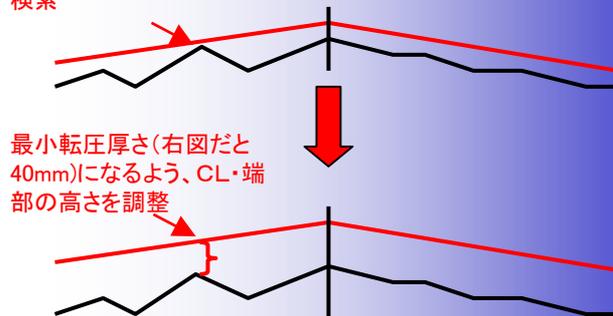


## 最小転圧厚さを保持し計画

・切削オーバーレイの入力方法で、「レベリング(オーバーレイ)」を選択した場合、最小転圧厚さを保持した計画線作成します。

入力方法で「レベリング(オーバーレイ)」を選択した場合、横断面データ画面で「計算」ボタンをクリックすると計画値算出画面が表示されます。  
□のリストの中から「レベル高さ計算」を選択すると、この画面が表示されます。

舗装厚が一番薄い箇所を検索



最小転圧厚さ(右図だと40mm)になるよう、CL・端部の高さを調整

・舗装厚が一番薄い箇所を検索し、その箇所  
が最小転圧厚さになるよう、センターライン・端部の計画高を加算します。